

Outlook でメールを送信するときはメールの書式を**テキスト形式**又は**HTML 形式**にする。受信者が Outlook メール利用者なら問題ないが、それ以外のメール利用者なら「Winmail.dat」という添付ファイルが読めなくなる事がある。これは Outlook メール送信者側の問題です。

対処方法

1. Outlook のバージョンが、Microsoft365, 2019, 2016, 2013, 2010 の場合
(バージョンは Outlook のファイルラベルをクリックして表示される Office アカウントや PC の設定画面から確認出来ます)

Outlook を開き下記①又は②の操作をする

① ファイル > オプション > メール > と進み、メッセージの作成で「次の形式でメッセージを作成する」を**テキスト形式**又は**HTML 形式**として **OK** ボタンを押下して画面を閉じる。

② リボンの **新しいメール** を押下して新規メール作成画面とし **書式設定** タブを押下して **Aa HTML** 又は **Aa テキスト** を選定しておいてメールを作成する。

2. Outlook のバージョンが 2007, 200311 の場合
上記1. と基本的には同じで①のメッセージの作成で「このメッセージ形式で作成する」を**テキスト形式**又は**HTML 形式**とする。

「Winmail.dat」が作成される仕組み

Outlook でメールを送信すると、相手先に届いたメールに「Winmail.dat」というファイルが添付され、メールの本文が見えなくなることがあります。Winmail.dat は「TNEF」と呼ばれる形式でメールが送信されたとき、相手先のメールソフトが TNEF を解読できない場合に添付されるファイルです。TNEF とはマイクロソフト独自のメールフォーマットで、Outlook や xchange Server で使われます。TNEF を読めない(変換できない)メールソフトでは、書式、画像、添付ファイルなどの情報が「Winmail.dat」というファイルにまとめられ添付されます。

3. それでも Winmail.dat を受信した場合は、「Winmail Opener のダウンロードとインストール方法」(<https://3u3po.nobody.jp/3ukai-web.html>) の 2023.1.10 を参照。

→ 以前、書式をテキスト形式にすべしとの説明をしましたが、HTML 形式はホームページを作成する書式ですので装飾などが豊かに表現できます。この利用もお勧めです。

この記事は <https://mitsutomi.jp/winmail-dat-17597> マイクロソフトのヘルプ画面等を参照にして作成しています。 (以上)